


「TOK」入門(1) イントロダクション

★「TOK(Theory of Knowledge, 知の理論)」って何だろう？



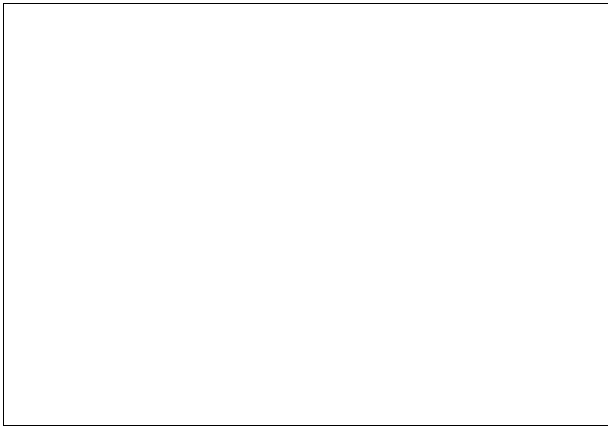
「知識」って何？  
 「知ること」とはどういうこと？  
 どうやって我々は「知っていく」のだろう？  
 これがTOKで学ぶことだ。  
 学び終えたとき、君たちには全く新しい地平が見えてくるに違いない。

- ・ 国際バカロレアのカリキュラムの1つである「ディプロマ・プログラム (DP, 16歳~19歳までを対象)」の中にある科目です
- ・ 「知識」について、異なる角度やさまざまな視点から、見たり、考えたりする科目です
- ・ 「TOK」を学ぶ内容は、常に次の2つの問いが出てきます
  - ① 「私(たち)は知っている」というとき、それはどのようなことを意味するのか？
  - ② その知識は、何に基づいているのか？

★「知識」って何だろう？

Work 1 (個人ワーク)

何も見ずに、3分間で世界地図を描いてみよう。



Work 2 (グループワーク)

映し出された地図を見て、話し合ってみよう。

1 ①②は誰が書いた地図？

.....

.....

2 自分たちの書いたものどう違う？

.....

.....

3 なぜ違う？

.....

.....

Note

1 (①) (perspective)について

人それぞれに視点が異なる

- ・ ...例 年齢, 男女, 育った場所
- ・ ...例 日本人, キリスト教文化

だから、国際的な人間になるために

(1) (②) をオープンにすること

(2) よく (③) こと

(3) (④) から一度見てみる

2 知識に関する主張(knowledge claim)の考え方を身に付けておこう

実は、英語圏でも knowledge claim は目新しい言葉らしいです。TOK 独特の言葉です。でも、これは TOK の基本になる言葉なので覚えておきましょう。日本語で「⑤」と言えることすべて、knowledge claim と言えるのです。

- 例：アインシュタインが相対性理論を発表した (ことを知っている)。
- 東京土産の「東京〇〇〇」がおいしい (ことを知っている)。
- 私はお母さんに愛されている (ことを知っている)。
- 私はギターが弾ける。(=弾き方を知っている)

Work 3 (グループワーク)

「私は〜を知っている」と書けるもの(「私は」も「知っている」も省略してよい)を一人5個以上あげてみよう。

.....

.....

.....

Note

3 知識を分類してみると (※c)

(1) 内容によって3つに分類すると

・ (⑥) (practical knowledge)

- 例 バイオリンの弾き方を知っている
- 自転車の乗り方を知っている



・ (⑦) (knowledge by acquaintance)

- 例 あったことのある人を知っている
- 味わった味を知っている



・ (⑧) (factual knowledge)

- 例 浮力の法則を知っている
- 西南戦争の原因を知っている



(2) 所有の仕方でも2つに分類すると

・ (⑨) (personal knowledge)

例 お兄さんのおへそのそばのほくろを知っている

・ (⑩) (Shared knowledge)

例 I 13番元素がニホニウムとなったのを知っている



第1限のまとめ

- 1 我々はそれぞれ別の視点 (perspective) をもつ。個人的視点、文化的視点が違うからである。
- 2 知識について、内容について分類したり所有者について分類したりできる。特に個人的知識は集団的知識と互いに交流している。